

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ライズ児童デイサービスやこう幸		
○保護者評価実施期間	2024年10月1日		～ 2024年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	2024年10月1日		～ 2024年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	《情報共有》 朝礼、昼礼、終礼を行い、細やかに伝達事項を共有している。	勤務職員が全員発言できるようにMCは話を振っている。 申し送りノートに記入し、勤務外の職員も共有漏れのないようにしている。 オペレーションや、支援に関して困り感、不安に気づいたら都度声をかけるようにしている。	・振り返り(送迎、児童対応、保護者対応、関係機関など)の時間を多く持てるように時間配分を考え、効率よく業務をこなせるように役割分担していく。
2	《職員》 長く勤務して下さっている職員も多いので、児童の成長の過程を新人職員に伝えることが出来ている。今までの過程とこれからの課題をともに考えていける環境にある。 また、支援については、勉強熱心な職員が多数いる。	長く勤務していると支援方法など、固まりがちになるが、周囲の意見も取り入れ『児童の意思の尊重・最善の利益』を考え柔軟に支援内容、方法を変化させていく必要がある。	新しく入職した職員の意見もしっかり傾聴し、事業所の支援として出来る、出来ないなどの判断をしていく。 支援方法の統一化が図れるよう、いろんな場面を想定して話し合いを設ける。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	《支援内容》 活動プログラムの固定化が懸念されている。	活動プログラムは、毎月職員が話し合い決めている。 内容は、曜日毎の児童特性に合わせて考えているが、支援学校児童に重点を置いた内容になっている為、支援級児童の『楽しさ』『やりがい』『達成感』には繋がっていない。 また外出イベントも定期的に組んでいきたいが、職員スキルと児童特性により難しい場面が多く減ってしまっている。	・同じレクでも課題別の準備が必要 ・固定化されているレクに関して見直しと改善 ・外出イベントの再開に向けて、公共交通機関の使い方や一般的な施設内でのルールを伝える場面を作っていく。
2	《職員配置》 職員入れ替えが多かった時期で保護者様にとっては不安点が大きかった。	4月～12月にかけて職員の入れ替えが激しく、残った職員での事業所オペレーションが難しい時期が続いた。 児童特性や職員スキル、また職員の得意を生かす場面を常に考え、職員もやりがいを感じる環境を考える必要がある。	・職員面談を定期的実施し、悩み、不安、やりたい事、キャリアアップなど細やかに聞く機会を増やす
3	《店舗》 古い建物で耐震構造になっていない事。 入室するまでの急な階段、夕方～夜にかけての通路の暗さが危険だなど感じる場面がある。	入室するまでの階段や、訓練室スペースの狭さなどは毎年の課題に挙がっているが構造上修正するのは難しい。 難しい場面をいかに社会生活に活かせるかを考え、支援として取り組めるように柔軟な対応が必要。 (階段を走って降りない や 一段飛ばししない など)	・事業所内の構造化を進めていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ライズ児童デイサービスやこう幸

公表日 2025年3月1日

利用児童数 32

回収数 29

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	0	25	4	0	・クールダウンスペースがあるとよいと思う。 ・教室に向かう為の階段が急だなど感じる。	・室内の構造化を回り、スペースが作れるよう改善策を考えてまいります。 ・階段を使用する際には職員がサポートに入ります。階段の使用方法についてもしっかりお伝えしていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	29	0	0	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	0	29	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	0	29	0	0	・面談に伺ったとき、隣の麻雀屋さんの匂いが気になりました。	近隣住民の方にも事業所を周知していただき、匂いや衛生面などよりよい空間にできるよう尽力致します。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	0	0	0	・手のかかる子供に対して、いつもお気遣い頂いて感謝しています。	室内の構造化も含めて、利用者様みんなの過ごしやすい環境に対応していければと考えております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	4	0	0	・最近固定化されているように感じる。 ・固定化も感じるがそれが安心と感じる児童もいるのではないのでしょうか。	・児童特性に合わせ、よりよいプログラムが実行できるよう職員で話し合いを重ねてまいります。
保護者 への 説明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	0	0	29	0	・交流は求めておりません。	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	0	0	0		契約時に説明させて頂いております。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	0	0	0		面談時に説明させて頂いております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	0	29	0	0		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	29	0	0	0	・送迎時に必ず様子を伝えてくれる。 ・ブログやインスタなどで様子が見れる。 ・毎月の新聞で様子も見れている。	送迎時の報告は要点をまとめて簡潔にお伝えしております。事業所スタッフと保護者間での健康状態や発達状況に関しては相違がないと感じております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	0	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	0	0	29	0	・保護者会の開催は求めている	現在開催の予定はありませんが、ニーズがあれば前向きに検討していきます。	
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	0	0	0			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29	0	0	0	・送迎時には職員さんが様子を伝え、特記事項があれば電話連絡で伝えてくれている。	送迎時の保護者様への報告は要点をまとめて簡潔にお伝えさせて頂いております。伝えきれないお子様の過ごしもあるかと思っておりますので、ブログを読んで頂きたいです。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	29	0	0	0	・毎月新聞でイベントの様子が伝わっている。 ・子供はブログを楽しみにしている。	SNSでの発信は可能な限りアップしていきたいと考えております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	0	29	0	0	・避難訓練をやっているのは知っていますが書面などは知らないです。	緊急時マニュアルの周知はあったが、そのほかの周知に欠けていた。面談時に伝えられるようにしていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29	0	0	0	・避難訓練をやっているのは知っています。	・年2回の避難訓練週間の開催に合わせてより詳細をお伝えできるよう、書面なども合わせて作成してまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	0	0	0	・マンツーマンでついで下さったり、パーティションなどで区切って下さり、配慮を感じます。	今後も室内環境や、車内の乗車位置など都度確認し、安全安心な環境を作っていくようにしてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29	0	0	0	・利用日には『今日はライス』といって登校し、帰りは笑顔で帰ってきています。	児童の生活の一部として認識して頂けている事、大変嬉しい事です。今後もより楽しい通所となるよう尽力してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	29	0	0	0	・ライス用のリュックを朝から準備してお迎えが来るのを待っています。 ・お迎えの電話を心待ちにしており、電話がなると自ら玄関に向かっていきます。	嬉しいお言葉ありがとうございます。今後も児童の楽しみや好きを見つけ、よりよい過ごしになるようスタッフ一同努力してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ライズ児童デイサービスやこう幸		令和7年 3月 1日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0	9	・パーティションやテーブルなどで区切ってスペースなどを日々変えて対応している。	効率的なテーブルやロッカーの配置などを日々考えていきたい。 また、利用者によっても危険な箇所のないような位置取りをしていきたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	・安全安心を第一に考え、配置数を考え、シフト組んでいる。	人手不足は否めない。安定したスタッフが長く働きたくなるような職場環境の設定が必要。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	5	・利用者やレクの内容により、パーティションや机で区切りをつけ、視覚的にわかりやすいようにはしている。	構造化していますと自信を持って言える環境ではないので、備品含め、安全かつ過ごしやすい環境作りが必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	0	9	・日々の清掃、消毒業務は欠かさず行っている。	壁紙や、ロッカーの安全帯など壊れてしまっているところがそのままになっている状態。常に意識をしておくようにしていきたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	9		外部評価とはどんなものなのか分からない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	4	・月別研修や外部研修は正職員は参加できている。非常勤職員までの周知、参加は出来ない	研修後の振り返りや各々の意見を聞く機会を設けられていない。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	4	スタッフの意見が別れる時があるが、話し合いまとめている。	たくさんの意見が出るのはとても良いことだと思うので、児童に合った支援内容を常に考えて行くことが必要。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	2		非常勤職員さんは意見を聞けないまま作成に進んでいることもある。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	4		構造化されたツールとは何かを知らない。 経過記録や、日々の申し送りなどで深掘りしていく必要がある。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	4		家族支援、移行支援に関しては、役職者が他事業種と話す機会が少なく情報交換や共有の場が少ないことが課題。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	正職員で話し合って決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	6	固定化しないように提案はしているが実行に移すための準備と職員スキルが伴っていない。	支援方法の幅を広げていかないといけない。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	6		個別活動に関して日々の課題を共有し、月間課題として取り組んでいくなど近くの目標設定、その共有が必要である。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	2	出来ているときとそうでないときがある。	児童がいる時でも配慮しながら情報共有に努めていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	0	9	終礼はできていない。	終礼するだけで振り返りの時間が持てていないので、都度持てるような時間配分を考えていきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		経過記録は毎日欠かさず行っている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	4		非常勤職員さんに伝わっていないので昼礼などで理解していただけるよう話していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	4		口頭指示だけになってしまっている事が多いので、室内の視覚支援カードの強化を図りたい。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	児童発達支援管理責任者が出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	6	固定された関係機関とは連携をとれている。	関係機関との連携は少ないと感じている。児童の将来を見据え、関係機関との情報共有などは強化していく必要がある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0		保護者様にも協力していただき、連携はうまくいっていると思う。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	9		就学前の情報収集、共有はない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	9	実績なし。	卒業後の施設などからの依頼など受けたことはない。保護者様からの情報共有の場もない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	9		実績はない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	9		現在、保護者様からも要望もないので、改めてそのような場は設けていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	0	機会があれば参加している。	役職者が参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	9	実績なし。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		契約時に行っている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		面談時に設けている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		面談時に伝えている。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	9		現在ニーズもないため、改めて支援ということとはしていない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	ブログやインスタの定期投稿を行っている。	今後も投稿の頻度を上げていけるようになっていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	9		近隣住民の方には、児童福祉施設だということをお話しし理解していただいている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	6	事故・緊急時・感染症対策は周知があるが、防犯は職員も周知していない。	今一度、書面を確認し職員周知に努めます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	年に2回避難訓練週間を行い、全職員、全児童が参加するよう計画されている。	今後も避難訓練は継続して行い、様々な対応が出来るよう内容を深掘りしていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	契約時、面談時に確認している。	書面にて職員共有している
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	9		保護者からの書面に対応している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	4		研修の機会は少ないのではないかと感じる。末端職員にも伝えていく必要がある。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ヒヤリハットへの意識が弱い	ヒヤリハットすることが日常化してしまっているのではないかと感じる。常に安全安心を意識し、すぐに記録に残せるような環境作りが必要。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		研修の機会もあるし、職員みんなが深く意識して支援に臨んでいる。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	契約時にお話しし、必要がある場合計画書に記載の上了承を得ている。		